

Roots 企業の原点

# 「バイオリンの村」を象徴

## 森の工房は生産量日本一

『バイオリンの村』という絵本がある。昭和五十四(一九七九)年に小

峰書店から出版されたもので、著者は赤座憲久さん、絵は鈴木義治さんが担当している。

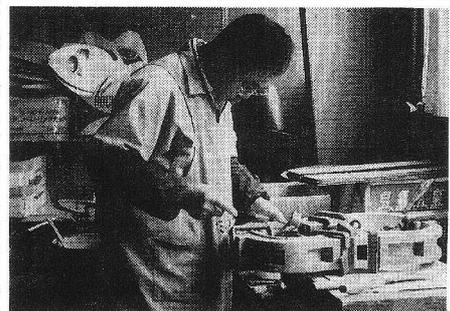


「職人」も兼務する伊藤社長

この物語は、戦時中の山あいの村が舞台。疎開してきた「野末先生」の弾くバイオリンの音色に村の人たちが魅せられ、村の子どもたちもバイオリンを習い、さらにその子どもたちもバイオリンを習っているのが恵那楽器

のモデルとなったのが、恵那市の北部、笠置山の山麓にある中野方町。この地域ではバイオリンを習う子どもたちが多く、親から子へ、子から孫へとバイオリンへの愛情が受け継がれている。

同社の歴史は、国内バイオリン製造最大手、鈴木バイオリン製造(名古屋)が、戦時疎開に伴って恵那郡中野方村(現在の恵那市中野方町)に移転したことから始まる。戦時中は軍需工場として稼働したが、終戦によりバイオリンやギター製造を再開。そして昭和二十九(一九五四)年、鈴木バイオリン製造や中野方の有志が出資し、恵那工場は有限会社恵那楽器として独立し、同三十二年には株式会社となった。



「工場」と呼ぶより「工房」と呼ぶのがふさわしい同社では現在、バイオリンやマンダリンのほか、チェロやコントラバスを製造。楽器を構成す

る各部材の加工に始まり、組立や塗装、仕上げまで、すべての工程がこの工房で行われる。伊藤社長も社長業の傍ら、一日の半分は「職人」として現場で過ごしている。

この現場では、一人一人が各部署のエキスパート。欠かすことのできない人材ばかりだという。国内で現在、部材の加工

だ。円高による製造拠点の海外移転はこの業界にも及び、主力工場だった同社には厳しい状況が生まれた。自身の母親も同社で働いていた伊藤社長は「母親の

### 決

①近田裁判官は、弁護士に対し「将来、懲戒になる可能性があるのではないか」という見通しを述べたにすぎない。

★「所変われば品かわる」ということわざ

審判を求めた事件で、同じ岐阜地裁刑事部は今年十月九日、次のような判決を出した。(裁判官としての良心による判断が随所にある)

審判に関与してきたことが認められる。

④裁判官の発言と百万円支払請求は、後見監督としての本来的な目的を逸脱し、手段としての相当性を欠くもので職権濫用行為に該当するとの嫌疑を否定しえない。

たとは認められない。(仲間うちの裁判官をかばう判決であることはみえみえである)

審判に求めた事件で、同じ岐阜地裁刑事部は今年十月九日、次のような判決を出した。(裁判官としての良心による判断が随所にある)

審判に関与してきたことが認められる。

### 弁護士日記

## 上命下服にない

## 公務員(裁判官)

美和 勇夫

「美濃加茂市長は無罪である」という判決は裁判官が出したもので、一審の名古屋地方裁判所が全体で合議してそういう結論を出したわけではない。

一方、検察官には「検察官一体の原則」というものがあり、検察は行政官として上命下服の關係に立ち、上役の指揮監督に服さなければならぬ。

よって裁判官はすべからず良心と法律に従って、謙虚にしておこ

「所変われば品かわる」ということわざ

審判を求めた事件で、同じ岐阜地裁刑事部は今年十月九日、次のような判決を出した。(裁判官としての良心による判断が随所にある)

審判に求めた事件で、同じ岐阜地裁刑事部は今年十月九日、次のような判決を出した。(裁判官としての良心による判断が随所にある)

審判に求めた事件で、同じ岐阜地裁刑事部は今年十月九日、次のような判決を出した。(裁判官としての良心による判断が随所にある)

約歓迎!カラオケあり!!★

☎(0572) 24-0171

11:00~14:00  
17:00~23:00

☆無休☆

エンタルタワーズスイート1階

ジュニアオーケストラ多治見

団員募集

対象:おおむね小学生~高校生  
楽器:バイオリン、チェロ、フルート、クラリネット、打楽器、など

事務局:多治見市前畑町2-46 ☎堀江090-3569-6324

名古屋税理士会多治見支部  
多治見税務相談所

毎週水・金曜日 13:00~16:00 (予約7:15:30)

事前予約承ります ☎(0572) 25-444  
多治見市音羽町4-25  
〔多治見税理士会館〕 FAX(0572) 25-635